

1 事業内容

団体名	北海道教育大学釧路校 学内学生団体 「チーム『つなくる』」
事業名	チーム「つなくる」による防災出前授業
課題テーマ	安心して暮らせる都市・地域を担う人材育成
事業目的	チーム「つなくる」による市内小学校の防災出前授業実施の支援
事業内容	<p>1：チーム「つなくる」所属の学生が、市内小学校からの依頼による地震・津波防災授業を実施する（5校程度）。</p> <p>2：チーム「つなくる」所属の学生が、雌阿寒周辺の小中学校からの依頼による火山防災授業を実施する（1校）</p> <p>上記の実施の際に以下の準備を行う。</p> <p>(1) 命をまもる「地震・津波防災」パンフレットの作成（第5版）と印刷(1000部)</p> <p>※実施した学校の児童生徒へ配布する。</p> <p>(2) 津波実験装置のメンテナンスを行う。</p> <p>※制作して12年が経ち水漏れがあるため、防水処理を行う。</p> <p>(3) 津波実験装置の地形模型（釧路市）をリニューアルする。</p> <p>※制作して12年が経ち劣化があるため作り直す。</p> <p>(4) 降灰実験装置の補修及びメンテナンスを行う。</p>
事業展開	<p>事業内容1：チーム「つなくる」所属の学生が、市内小学校からの依頼による地震・津波防災授業を実施する（5校程度）。</p> <p>○実施状況：7校で実施した。社会教育、一般向け等で5回実施した。</p> <p>(1)学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月17日 北海道教育大学附属義務教育学校前期課程6年生2クラス ・8月30日 釧路市立青葉小学校4年生2クラス ・9月5日 釧路市立城山小学校6年生1クラス ・9月9日 釧路市立山花小中学校全校 ・9月10日 羅臼町立春松小学校6年生・1年生 ・9月11日 羅臼町立羅臼小学校6年生・1年生 ・10月17日 釧路市立清明小学校4年生2クラス ・11月13日 釧路市立東雲小学校3年生1クラス ・11月21日 釧路市立昭和小学校3年生3クラス <p>(2)学校以外で津波防災出前講座を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月4日 ねいばる厚岸 防災リーダー養成講座 ・8月17日 日本地学教育学会でデモンストレーション ・9月2日 様似町防災講座

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月4日 健康ウォーキング出前講座 ・ 1月11日 釧路市あすなろ会こども遊学館でジオ・フェスティバル in KUSHIRO で出前講座 <p>事業内容2：チーム「つなくる」所属の学生が、雌阿寒周辺の小中学校からの依頼による火山防災授業を実施する（1校）</p> <p>○実施状況：1校で実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月16日 釧路市立阿寒中学校で実施した。 <p>事業内容（1）～（4）上記の実施の際に以下の準備を行う。</p> <p>(1) 命をまもる「地震・津波防災」パンフレットの作成（第5版）と印刷(1000部)</p> <p>※実施した学校の児童生徒へ配布する。</p> <p>○命をまもる「地震・津波防災」パンフレットの作成（第5版）と今年度配布不足分を含めて印刷(1500部)を行った</p> <p>(2) 津波実験装置のメンテナンスを行う。</p> <p>※制作して12年経過し、水漏れがあるため、防水処理を行う。</p> <p>○防水処理及び結露による床の濡れを防ぐ処理を行った。スタイロフォームが現状で割れたり、欠損したりしているため、スタイロフォームを購入し結露防止の処置を行った。</p> <p>(3) 津波実験装置の地形模型（釧路市）をリニューアルする。</p> <p>※制作して12年が経ち劣化があるため作り直す。</p> <p>○7月に釧路市を制作し今年度の実施分より地形模型をリニューアルした。</p> <p>○8月に様似町防災講座のために地形模型を作成した。</p> <p>(4) 降灰実験装置の補修及びメンテナンスを行う。</p> <p>○スタイロフォームが割れ、地表の水平を保てない状況のため、スタイロフォームの張り直しを行った。</p>
<p>成果目標の達成状況</p>	<p>目標1 子供達の防災意識を高めるとともに、家庭に戻って家族の防災意識の向上を図ることができる。</p> <p>○予定を上回る学校での防災授業及び出前社会教育講座を行うことができた。子供達の防災意識を高めるとともに、家庭に戻って家族の防災意識の向上を図ることができたとともに、広く市民に講座を行い防災意識の向上を図ることができた。</p> <p>目標2 防災教育を実践できる人材を育成し、学生が自信をもって防災教育の担い手として活躍することができる。</p> <p>○防災教育を実践できる人材を育成し、学生が自信をもって防災教育の担い手として活躍することができた。4月より網走管内3名、根室管内で教員となり防災教育の担い手となって活躍することを期待したい。</p>
<p>波及効果の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の意識を変えることによって地域の意識を変えることにつながる。また、防災教育を続けて行うことによって防災意識の向上を図ることができる。 ○児童教延べ400名、社会教育での参加者延べ800名以上であ

	<p>り、家族、親類への波及効果がある。しかし、まだまだ広めていかねばならない。</p> <p>・将来、釧路管内の教員となり防災教育を担う人材として教壇に立つことができる。</p> <p>○今年度の釧路管内の採用は0であった。卒業生を含めて、防災教育を担う人材を今後も育成していく。</p>
実施体制	<p>防災教育授業及びその準備は北海道教育大学釧路校授業開発研究室境ゼミの学生が実施する。顧問は境が行い、交付金は大学の財務が管理する。</p>
連携した市担当課	<p>無 ・ (有) (総務部 防災危機管理課・室)</p>
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	<p>市内すべての学校で充実した防災教育が実施できるように、防災関係機関、団体が協力体制をつくりその中でチーム「つなぐる」が釧路市の防災教育の一部を担える体制作りをしてほしい。</p> <p>○市内小中学校の防災教育の実施率は100%である。今後はその内容を充実させ、一人一人が自分事の防災となるよう様々な団体と連携していきたい。本年度は、危機管理課と連携しながら進めることができた。</p>

2 支出決算書と支出内訳 (収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	150,000円	
大学教員研究費	10,732円	
合 計	160,732円	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	99,000円	防災パンフレット 1500冊
消耗品費	61,732円	発泡スチレンボード(7枚 20,636円) 発泡スチレン接着剤(40本 9,152円) 表面保護ニス(9,834円) 木工用刷毛(1,760円) スタイロフォーム(20,350円)
小 計	160,732円	
対象外経費		
小 計		
合 計	160,732円	